

平成24年7月30日
福島県農林水産部

県産材製材品の表面線量調査の結果について

1 目的

県内の製材工場において、製材品の表面放射線量を定期的に測定し、現在出荷されている県産材の安全を確認する。

2 調査時期 平成24年6月4日～平成24年7月24日

3 調査事業者数

対象工場聞き取り調査の結果、現在県産材を製材、出荷している135事業者について調査した。

4 調査方法

(1)製材品の表面線量調査

各調査工場の出荷製品について、柱、梁、板材等、品目毎に3検体以上を抽出し、製材品の表面線量(単位cpm)を測定した。

【調査事業者の内訳】

区分	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	合計
事業者数	23	34	22	15	10	13	18	135
検体数(本)	221	201	186	111	54	105	180	1,058

5 調査結果

現在県産材が出荷されている135工場における表面線量調査の結果、放射性物質による表面線量の最大値は61cpm(0.0021μSv/hに相当)であり、放射線防護に詳しい、国立大学法人長崎大学 松田尚樹教授及び独立行政法人放射線医学総合研究所 鈴木敏和外部被ばく評価室長に確認したところ、61cpmの値は、環境や健康への影響はないと考えられるとの評価が得られた。

独立行政法人産業技術総合研究所の換算表により試算

【調査結果内訳】

区分	表面線量 (cpm)					合計
	未検出	～20	～40	～60	60～80	
工場数	48	66	19	1	1	135
検体数(本)	763	263	29	2	1	1,058

最大値：61cpm
最小値：0cpm
平均値：3cpm

6 今後の対応

今回と同様の調査を定期的(3ヶ月に1回)に行い、製材品の安全を確認する。